

中期経営計画(24-26)

2024年はじめに「中期経営計画(24-26)」を策定し、新たな3カ年の中期経営計画をスタートしました。

「Reaching new heights ~新たなステージへ~」をスローガンに、業界のリーディングカンパニーとして、お客さまの安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供するための戦略を推進します。

中期経営計画の基本方針		
スローガン	主要経営指標	キャッシュ・アロケーション
Reaching new heights ~新たなステージへ~	売上高 3,300億円	前向き投資 300億円以上
	営業利益 300億円	運転資本確保 600~700億円
	ROIC 8.0%	株主還元 配当性向30%目安
	ROE 9.5%	

基本戦略

① 脱炭素化を加速

- 環境対応製品の拡充 (Tadano Green Solutions)

② 新たな領域への挑戦

- 高所作業車を世界展開
- 既存の「当たり前」を変える事業展開
- 新技術への挑戦と製品化

③ 強みを活かしたものづくり改革

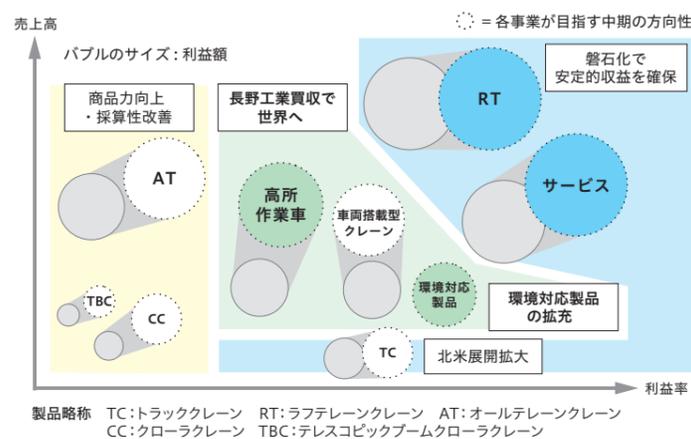
- 開発・生産の最適化
- 欧州事業の収益化

④ 変革を支える足場固め

- 地域の強みを活かした販売
- サービス力の強化
- 生産の自動化・省人化
- 経営戦略に連動した人財基盤の強化

中期の方向性〈事業ポートフォリオ〉

既存ビジネスの拡大・磐石化と新規事業展開の両立



4つの基本戦略

① 脱炭素化を加速

建設現場の環境対応をリード

- 環境負荷の無い製品を「Tadano Green Solutions」と位置づけ、ラインナップの拡充と拡販を進めます。

③ 強みを活かしたものづくり改革

日・独・米 (開発・生産拠点)それぞれの強みを活かした最適なものづくりへ

- 最適なものづくり体制を構築し、収益力の最大化と安定供給を図ります。
- 欧州で生産しているオールテレーンクレーンについて、ドイツの工場集約、小型モデルの日本生産移管により、コスト競争力と品質・納期の安定性を改善します。

② 新たな領域への挑戦

既存の「当たり前」を変える新たな事業展開

- 長野工業 (現 タダノユーティリティ) のグループ化により、高所作業車の世界展開を加速します。
- 安全で効率的な建設現場の実現に向け、自動操縦や遠隔操作など新技術への取り組みを加速します。

④ 変革を支える足場固め

各戦略を強く推し進めるための足場固め

- サービス力の強化では、当社製品を「安心して使える」「長く使える」ための体制を構築します。
- 働き手の不足と技術継承問題への備えとして、製造工程の自動化・省人化、IT化促進による安全・品質の担保に取り組みます。
- 当社グループにとって人財は競争力の源泉であり、中期経営計画に連動した人財基盤の強化を進めます。

持続的な成長に向けた取り組み

資本コストや株価を意識した経営

持続的な成長と中長期的な企業価値向上による、PBR1.0倍以上の達成と維持

- 資本コストを意識した経営の浸透と定着
- キャッシュ・アロケーションと株主還元
- ステークホルダーとの対話

サステナビリティ課題への対応

「創造・奉仕・協力」の経営理念のもと、企業価値の最大化と持続可能な事業活動を行い、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献

- 環境対応製品・サービスの提供、事業活動における環境対応
- 人的資本経営、自動化・省人化による働き手不足への対応
- コーポレートガバナンスの強化、企業価値の向上

脱炭素化を加速

① 脱炭素化を加速

建設現場の環境対応をリード

- 2023年に世界初のフル電動ラフテレーンクレーン「EVOLT eGR-250N」の販売を開始。走行、クレーン作業双方でのCO₂排出ゼロを実現しました。
- 環境負荷の無い製品を「Tadano Green Solutions」と位置づけ、ラインナップの拡充と拡販を進め、環境対応をリードしてまいります。

電動RT「EVOLT」の世界展開

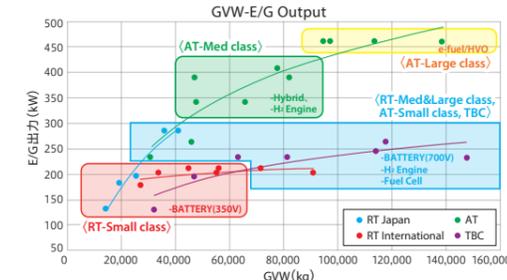
- 23年日本、24年北米、そして欧・豪へ
- 電動化の積極展開で世界のRTを牽引

脱炭素製品ラインナップ拡充

- e-PACK、EVトラック利用高所作業車、Hybrid製品、洋上風力設備用クレーンなど
- 風力発電の建設・整備時にもCO₂フリーに



2050年カーボンネットゼロ実現に向けた中長期のクレーン動力源の方向性



●点(ドット): 横軸にサイズ(GVW)、縦軸に搭載エンジン出力(kw)を取り、当社の現行ラインナップのポジションを表したもの。
●近似線(実線): クレーンタイプごとのラインナップの広がりを明示したもの。

●日本向けRT(=公道走行可 青線)とAT(=公道走行可 緑線)はサイズが大きくなれば大型エンジンが必要。フル電動化モデルは小型機に限定され、大型になるにつれ、Hybridや代替燃料による環境対応が中心に。

●海外向けRT(=公道走行不可 オレンジ線)とTBC(紫線)はサイズが大きくなっても中型エンジンで動作可能。クレーン機能の動力源のみ必要となり、フル電動化の可能性も高い。

高所作業車を世界展開

② 新たな領域への挑戦

既存の「当たり前」を変える新たな事業展開

- これまで日本を中心に販売してきた高所作業車の海外展開を加速します。
- 長野工業 (現 タダノユーティリティ) グループ化による製品ラインナップの拡充、開発・生産面でのシナジー発揮により新たな製品づくりを進めます。
 - ▶ 自走式高所作業車を海外市場の主力製品に
 - ▶ 電動高所作業車を環境対応製品の新たな選択肢に
- RTで培ったブランド力と世界中の販売ネットワークをフル活用した拡販に取り組みます。

自走式高所作業車の世界市場規模(当社推計)



当社主力のトラック架装式



長野工業主力の自走式

*右はクローラ型の電動モデル



強みを活かしたものづくり改革

③ 強みを活かしたものづくり改革

日・独・米 (開発・生産拠点)それぞれの強みを活かした最適なものづくりへ

- 当事業は多品種少量生産であり、ボリュームに頼らない生産効率の改善やコスト低減は、当社だけでなくサプライヤーにおいても大きな課題です。日・独・米それぞれの強みを活かした最適なものづくり体制を構築し、収益力の最大化と安定供給を図ります。
- 当社の設計思想である「TKN: T=作りやすい K=壊れにくい N=直しやすい」をグローバルに展開し、設計段階から当社だけでなくサプライヤーの作りやすさ・コスト低減を意識したものづくりを推し進めます。
- 欧州で生産しているオールテレーンクレーンについて、ドイツの工場集約を進め生産効率を改善します。小型モデルは日本生産へ移管し、コスト競争力と品質・納期の安定性を改善します。

世界最適調達(購買)

- サプライヤーとの関係を深め、一体となり、製品を安定供給
 - ・サプライヤーの作りやすさやコスト低減に協力、共に成長
 - ・欧州では主要サプライヤーとの戦略的な関係を構築

世界最適生産(地域)

- テクノロジーと高い溶接技術を活かしたドイツ生産
 - ・中大型AT・CCは欧州で
- コスト競争力と納期の安定性を兼ね備えた日本および米国生産
- CO₂削減に配慮しモーダルシフトを可能にする瀬戸内海
 - ・小型ATは日本で

世界共通生産

- TKN活動*のグローバル展開
- 日・独生産部材の統一で、安全・品質に加え、生産を効率化
 - ・キャブ・ブームなどの構造や部材の統一・共通化
 - ・最先端の生産設備導入と自動化推進

*TKN: 「T=作りやすい K=壊れにくい N=直しやすい」をコンセプトとした当社の設計思想